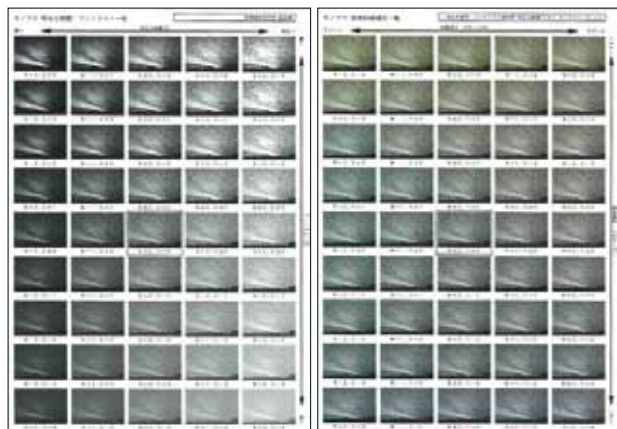
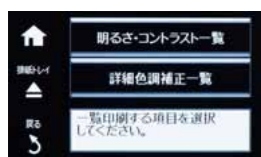


# パソコンいらずの作品印刷機能で高画質な作品に仕上げる!

## 2種類の「モノクロ一覽印刷」で高品位なモノクロ作品を自在に操る



明るさ・コントラスト一覽 詳細色調補正一覽



### 新しいモノクロ表現に挑戦

グレーインクを搭載しモノクロプリントも高画質。「明るさ・コントラスト一覽」と「詳細色調補正一覽」により、モノクロ写真にもこだわれる。コントラストを強めた表現やセピア調の作品づくりにもチャレンジできる。



### モノクロ作品の風合いをアート紙が引き出す

夜明けとともに飛び立つマガンの群れを、エプソン「Velvet Fine Art Paper」でモノクロプリント。「厚手のアート紙が使えるのもうれしい。クリスピーとは異なるしっとりとした風合いがモノクロ写真に最適だ」

大型タッチパネルを搭載し、写真の選択から編集、プリントまで、指一本で操作できる。4.3型のワイド液晶モニターは確認しやすく、パソコンからプリントするよりカンタンだ。



### パソコンなしでここまで作品に仕上げられる

パソコンなしで作品づくりができる【作品印刷機能】が大変充実している。「プリントを見ながら色調を確認できることは安心感につながり、フチ調整も簡単にできるね。パソコンがなくても詳細に画像調整できるのには正直驚いたよ!」



## 3ステップでイメージどおりのカラー作品をつくる

### Step 01

【撮影情報付き印刷】で作品を選ぶ



写真の絵柄と詳細なExif情報を一覽プリントで確認

液晶モニターで写真を粗選びしたら、撮影情報を確認しよう。【撮影情報付き印刷】を実行すれば写真とExif情報がプリントされ、パソコンを使わず手軽に作品をセレクトできる。



### Step 02

【色補正一覽印刷】で色調や明るさを補正する

イメージしやすい一覽印刷で画像調整

明るさやコントラスト、鮮やかさ、色調などが一覽でプリントされ、イメージどおりの色彩を素早く見つけることができる。後は選んだ画像の補正値をプリンターに入力してプリントするだけ。



### Step 03

【黒フチ・白フチ】を付けて作品性をグレードアップ



フィルム時代のダイレクトプリントの雰囲気味わう

黒フチ、白フチも思いのまま。太さも4段階から選択できる。「太めのフチを付けるとオシャレ。黒フチはフィルム時代のダイレクトプリントみたいでカッコイイ!」と、中野氏もお気に入りの機能だ。

も選べて本格的だね」と、脱帽。実際、プリントしてみると、「D500の持つ鮮鋭感や階調性がしっかり再現されていて、写真紙のクリスピーさとの相性もよく、A3にプリントしてもピントの芯が際立っているね」と、写真画質にも満足した様子。

Colorio V-editionは低インクコストで、しかもパソコンなしで高品位な作品づくりが楽しめる、写真愛好家のためのプリンターだ。

# パソコンなしでも高品位な作品づくりができるA3高画質カラリオ



Colorio V-edition EP-10VAなら、ニコン D500でとらえた野鳥の生命感をリアルにA3プリントできるね!

### 写真・解説 / 中野耕志

1972年、神奈川県生まれ、千葉・流山育ち。野生生物や自然風景、航空機から二輪レース撮影まで幅広い分野で活躍。特に野鳥と航空機の「飛翔体」撮影には定評がある。日本写真家協会 (JPS) 会員。

# 低インクコストのエプソン Colorio V-edition EP-10VAで高品位なプリント作品を楽しもう!

高画質なニコンD500でとらえた野鳥作品をエプソン「Colorio V-edition EP-10VA」でプリント。インクコストを気にせずA3プリント作品が楽しめるEP-10VAの魅力を紹介しよう。

低インクコストでも高画質

Epson ClearChrome K2インクでA3作品を気兼ねなくプリントできる!

L判1枚あたりのコスト (インク+用紙合計)

Colorio V-edition EP-10VA L判1枚 12.7円 (税別)

Colorio EP-979A3 L判1枚 26.5円 (税別)



基本4色にグレーとレッドを加えた6色の染料インクを採用し、高い写真画質を実現。低インクコストなので、気軽に買い置きできるのもメリットだ。

※消耗品価格については、2016年9月1日時点のエプソンダイレクトショップ掲載価格 (税別) を元に算出。

### プリントコストが大幅ダウン

同じA3対応のEP-979A3は、L判写真1枚あたり約26.5円 (増量インク使用時: 約20.6円) がかかる。Colorio V-editionならA3でもコストを気にせずプリントでき、作品本来の迫力を再現することができる。

### 大きくプリントして作品を飾ろう

低インクコストのColorio V-editionに中野氏も感激。「インクコストが安いことは、写真愛好家にとってとてもありがたい。傑作が撮影できたらA3にプリントして、額装したりプレゼントして楽しみたいね」

### そして、たくさんプリントしよう

低インクコストだから、気にせずプリントをたくさんすることでカメラやレンズのクセも分かるようになり、プリントの勘所も分かってくる。



ニコンD500の鮮鋭感を余すことなくA3作品に写真画質と低インクコストを両立した「Colorio V-edition EP-10VA」。エプソンのこだわりはユーザーが気にかかるコストだけにとどまらず、パソコンがなくても手軽に作品づくりが楽しめる、作品印刷機能が搭載されている。

今回、初めて使ってみた中野氏も「タッチパネルによる操作がすっきりカンタン。パソコンなしでフチの色や太さ